

平成 13 年度

# 埋蔵文化財緊急発掘調査概報

吉志部瓦窯跡  
高畑遺跡  
垂水遺跡  
豊嶋郡条里遺跡  
高城遺跡

2002年3月

吹田市教育委員会

## 序

吹田市におきましては昭和49年度国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査以来、年々増加する開発行為に伴い、数多くの発掘調査を実施してきました。

平成13年度におきましては国庫補助事業として5件（平成13年12月末現在）の発掘調査を実施しました。全て住宅の建築を契機として実施したものです。これらの調査地は千里丘陵の周縁部に位置し、市内でも早い時期から開発が進められた地域であり、今後、吹田市ではこれらの地域をはじめとして住宅の建替等の工事が増加するものと予想されます。

本市教育委員会におきましては、文化財保護業務を円滑にすめるべく日々努めておりますが、これはやはり市民の方々のご理解を得ずには困難なものといえます。市民のみなさまにおかれましては発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対し、今後とも深いご理解とご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

平成14年3月

吹田市教育委員会

教育長 椿原正道

## 例 言

1. 本書は平成13年度国庫補助事業として実施した、高畠遺跡、垂水遺跡、豊嶋郡条里遺跡、高城遺跡（平成13年12月末現在）の緊急発掘調査をまとめたものである。また、平成12年度に国庫補助事業として実施した吉志部瓦窯跡についても併せて報告する。
2. 発掘調査地点は次のとおりである。

(平成12年度)  
吉志部瓦窯跡 吹田市岸部北4丁目1388-2  
(平成13年度)  
高畠遺跡 吹田市昭和町1450-5・8  
高畠遺跡 吹田市昭和町1466-4  
垂水遺跡 吹田市円山町1647-1  
豊嶋郡条里遺跡 吹田市泉町2丁目3088-22  
高城遺跡 吹田市高城町1384-3
3. 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北4丁目10番1号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。
4. 本文の執筆は、第1～5章 西本安秀、第6章 賀納章雄が行った。
5. 図中の方位は磁北を示し、標高はT.P.（東京湾標準潮位）を示す。
6. 発掘調査において、宗教法人吉志部神社代表役員 奥田富夫、松本光代、黒田博岩元千代子、豊田健治、橋本優氏をはじめ、多くの方々の協力を得ました。記して謝意を表します。

---

### 発掘調査参加者名簿

調査主体 吹田市教育委員会

調査指導 大阪府教育委員会文化財保護課

調査担当 吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係西本安秀・賀納章雄・堀口健二

調査員 花崎晶子

調査補助員 林裕子・秋山芳恵

## 目 次

第1章	平成13年度埋蔵文化財発掘調査の契機	1
第2章	吉志部瓦窯跡の発掘調査	3
第3章	高畠遺跡の発掘調査	8
第4章	垂水遺跡の発掘調査	11
第5章	豊嶋郡条里遺跡の発掘調査	12
第6章	高城遺跡の発掘調査	13

## 挿 図 目 次

第1図	発掘調査地点	2
第2図	吉志部瓦窯跡発掘調査地周辺図	3
第3図	調査区平面図	4
第4図	土層断面図	5
第5図	遺構平面図	6
第6図	吉志部瓦窯跡検出遺構全体図	7
第7図	高畠遺跡発掘調査地周辺図	8
第8図	調査区平面図（第1期）	9
第9図	土層断面図（第1期）	9
第10図	遺構平面図（第1期）	9
第11図	調査区平面図（第2期）	10
第12図	土層断面図（第2期）	10
第13図	垂水遺跡発掘調査地周辺図	11
第14図	調査区平面図	11
第15図	土層断面図	11
第16図	豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図	12
第17図	調査区平面図	12
第18図	土層断面図	12
第19図	高城遺跡発掘調査地周辺図	13
第20図	調査区平面図	14
第21図	土層断面図	14

## 図版目次

- 図版1 吉志部瓦窯跡1
- 図版2 吉志部瓦窯跡2
- 図版3 吉志部瓦窯跡3
- 図版4 吉志部瓦窯跡4
- 図版5 吉志部瓦窯跡5
- 図版6 吉志部瓦窯跡6
- 図版7 高畠遺跡（第1期）1
- 図版8 高畠遺跡（第1期）2
- 図版9 高畠遺跡（第1期）3
- 図版10 高畠遺跡（第2期）1
- 図版11 高畠遺跡（第2期）2
- 図版12 高畠遺跡（第2期）3
- 図版13 高畠遺跡（第2期）4
- 図版14 垂水遺跡1
- 図版15 垂水遺跡2
- 図版16 豊嶋郡条里遺跡1
- 図版17 豊嶋郡条里遺跡2
- 図版18 高城遺跡1
- 図版19 高城遺跡2
- 図版20 高城遺跡3

## 第1章 平成13年度発掘調査の契機

平成13年度は、高畠遺跡、垂水遺跡、豊嶋郡条里遺跡、高城遺跡の4遺跡5件（平成13年12月末現在）の発掘調査を住宅建築工事に伴い実施した。

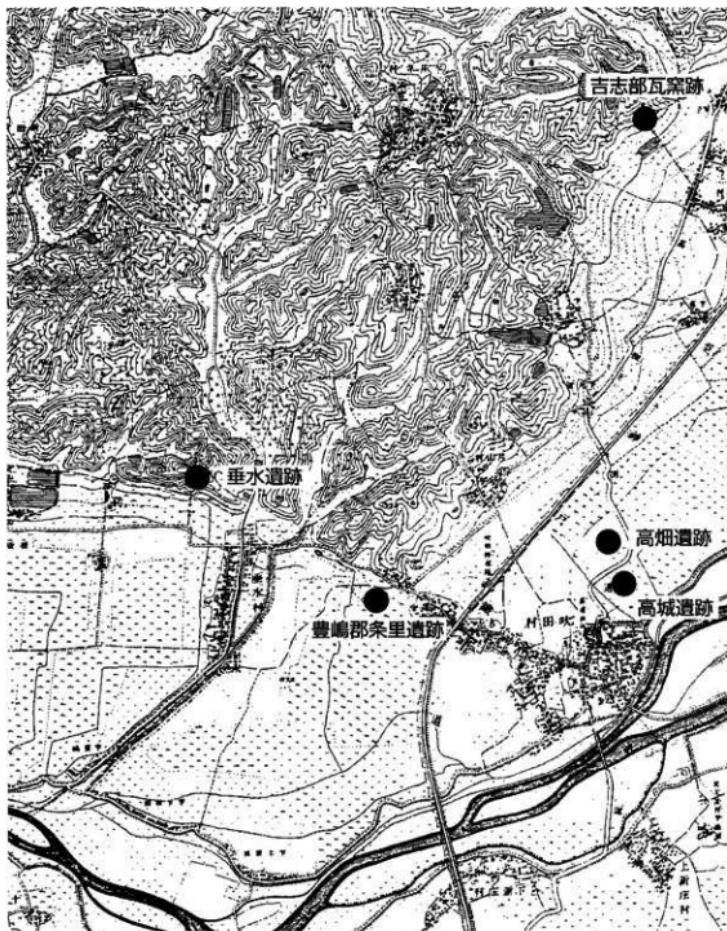
高畠遺跡は平成8年に建築工事の立会中に新規に発見された、古墳・平安時代、中世の遺跡である。その際に行われた調査では、平安末～鎌倉時代の建物跡を検出した。平成11年度の調査では3時期の遺構面が確認され、そのうち第3次遺構面で平安時代中頃の建物跡を検出した。これらの調査で検出された遺構から、高畠遺跡は平安～鎌倉時代の集落遺跡であると考えられるに至ったが、出土遺物の中に古墳時代中期の初期須恵器が含まれていることが注目されている。今回の調査地は2地点あり、それぞれ平成13年6月28日、12月28日に包蔵状況の確認調査を実施した。

垂水遺跡は旧石器～中世の複合遺跡である。昭和48～51年に本格的な発掘調査が行われた結果、丘陵上に立地する弥生時代の住居跡等が検出され、大阪湾周辺でも代表的な高地性集落であることが判明した。昭和55～56年に垂水神社東側の丘陵裾部で行われた調査では、宝塔文の軒丸瓦など平安時代末の遺物が出土し、垂水神社との関連が想定されている。昭和62年に丘陵南裾部で行われた調査では弥生時代の遺構・遺物等が確認され、集落跡は丘陵上だけでなく、裾部の平坦地に及ぶことが判明した。また、平成10年の調査では、熔解途上の痕跡の残る方格規矩鏡とみられる古墳時代の鏡の破片が出土し、古墳時代には通常の集落遺跡に止まらない性格を有していることが判明した。今回の調査地は遺跡の北端に位置し、平成13年6月26日に包蔵状況の確認調査を実施した。

豊嶋郡条里遺跡は縄文～中世の遺跡で、昭和58年の調査で豊嶋郡東限界に位置する地点に幅約5m、高さ約0.8mの堤防を有する中世の水路が延長約100mにわたって検出された。出土遺物は中世の土器類が主に出土したが、呪符木簡「蘇民将来」など注目された遺物もあった。今回の調査は遺跡の西端に位置する泉町2-3088-22において、平成13年11月9日に包蔵状況の確認調査を実施した。

高城遺跡は平安時代、中世を主とする集落遺跡である。平成5年度の調査では、平安時代中期から後期の柱穴、土坑、溝等の遺構を検出し、黒色土器、土師器等の遺物が出土した。また、平成9年度の調査では平安時代～中世の溝、土坑、ピット等の遺構と土師器、須恵器、瓦器等の遺物が出土した。これまでの調査実施件数は少なく、遺跡の具体的な内容については、明確ではないが、平安時代から中世に及ぶ集落が展開するものと考えられる。今回の調査地は遺跡の南端に位置し、平成13年11月22日に包蔵状況の確認調査を実施した。

なお、本概報においては、平成12年度に実施した発掘調査のうち、平成13年3月5・6日に調査を実施した吉志部瓦窯跡（岸部北4丁目1388-2）の調査報告も併せて掲載する。



第1図 発掘調査地点（明治18年作成地図）

## 第2章 吉志部瓦窯跡の発掘調査

### 1. 調査の経過

今回の調査は将来的な開発に対処すべく、範囲確認調査として吹田市岸部北4-1388-2において、平成13年3月5・6日にトレンチ1か所（調査面積6m<sup>2</sup>）を設定し、重機を使用して実施した。

### 2. 調査の成果

調査区の土層序は、基本的にI層（盛土 現代）、II層 暗灰色土（耕土 2）、III層 灰色土（搅乱層 3）、IV層 灰色土（4）、V層 黄褐色粘土（地山 7）で、遺構としては表土下約1mのV層をベースとした落ち込みと土坑を検出した。

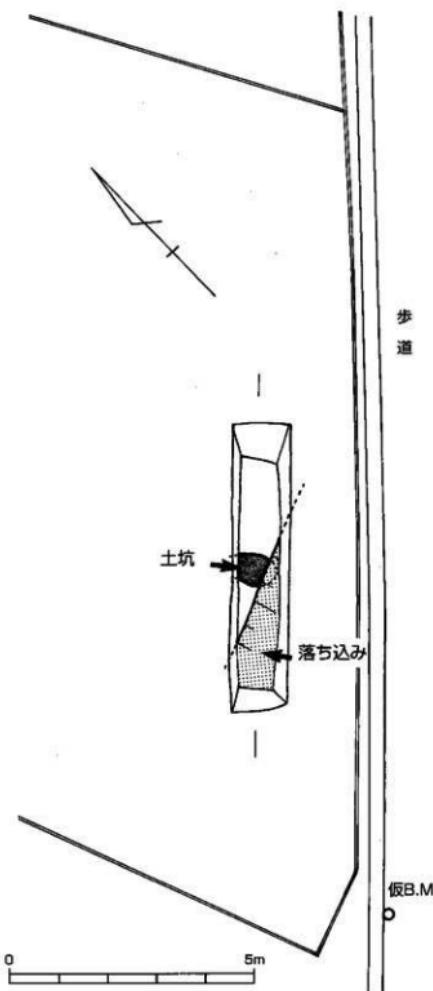
落ち込みはN66°Eの方位の東西方向に展開し、南へ段を有して緩やかに傾斜する。検出長約2.3m、幅約0.8m、深さ約0.2mを測る。遺構内の堆積層は淡灰色土と淡褐灰色土の2層に分かれ、砂の堆積が認められることから溝ではないと考えられる。上層の淡灰色土層から須恵器・土師器の細片が少量出土した。



第2図 吉志部瓦窯跡発掘調査地周辺図 (1:5000)

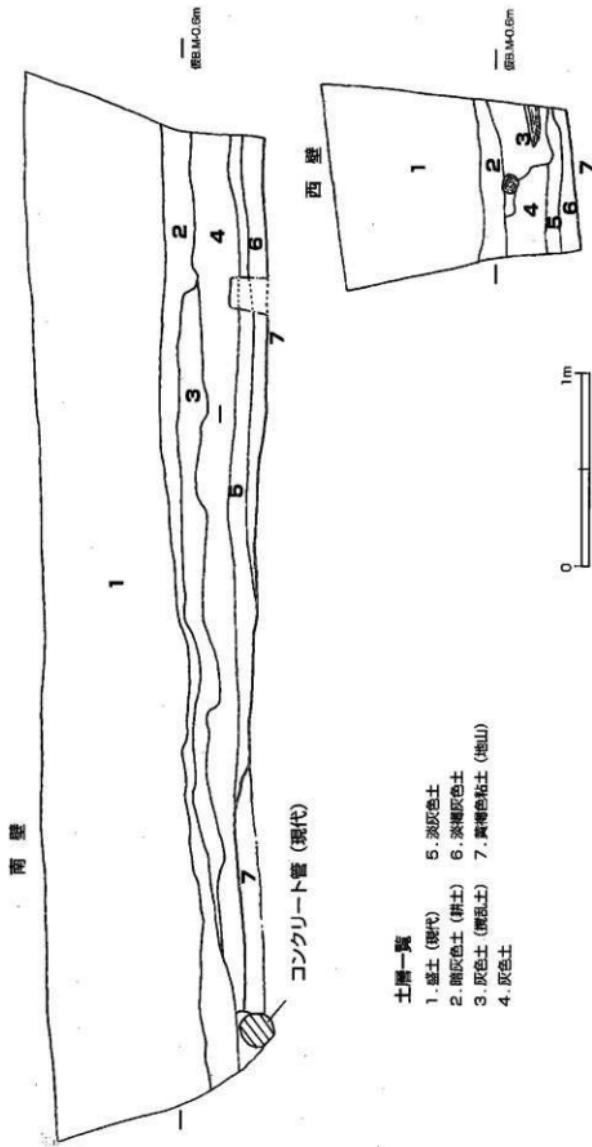
土坑は平面形は長径約1m（推定値）、短径0.7mを測る橢円形を呈し、深さ0.45mを測る。遺構内の堆積土は大きく3層に分かれ、それぞれ中央部分がややくぼむような形状で堆積している。上から3層目にくさび形の堆積土（灰白色土）が見られるなど、当遺跡で検出例のある回転台跡の状況と類似しており、これに該当すると考えられる。土坑からは遺物は出土しなかった。

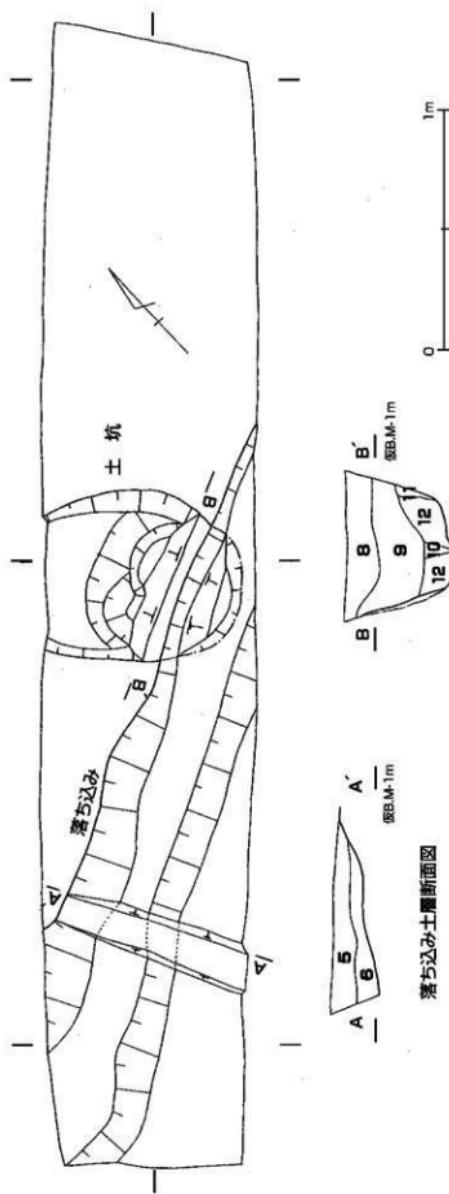
以上の検出された遺構は、重複関係から落ち込みの方が土坑より新しいと判断される。遺構の形成時期は出土遺物が細片のため判然としないが、堆積土層の層位から概ね平安時代初めの吉志部瓦窯操業期の遺構と考えられる。



第3図 調査区平面図

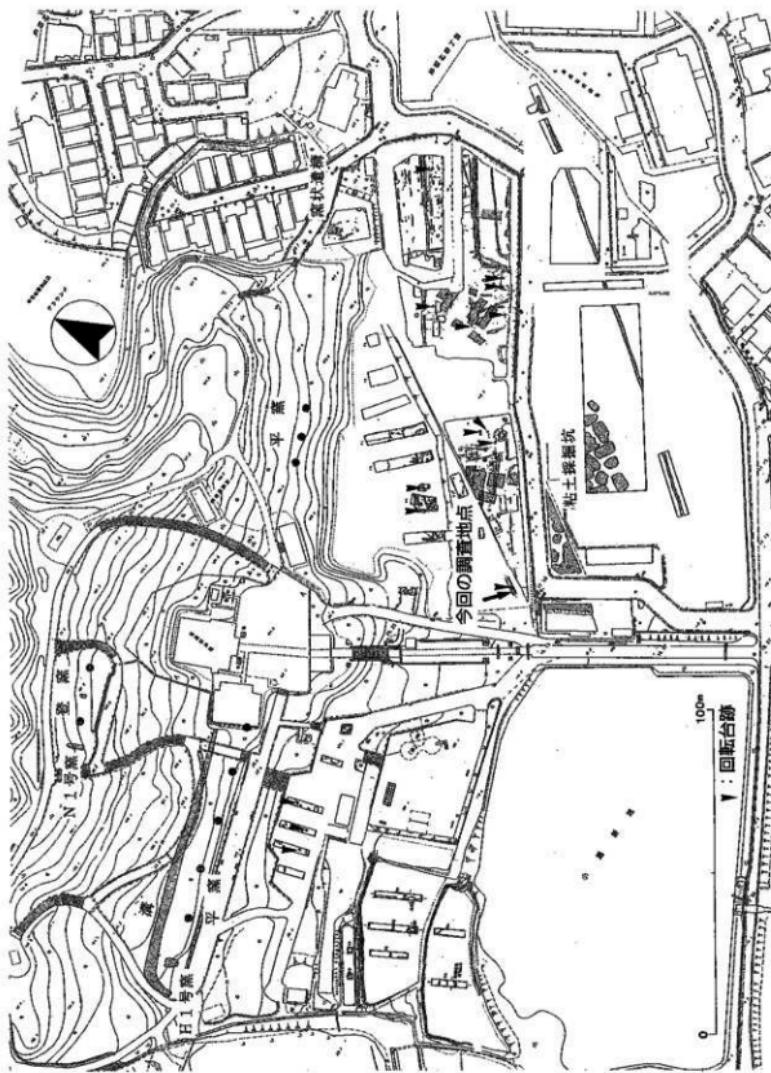
第4図 土層断面図





第5図 道標平面図

第6図 古志部瓦窯跡検出遺構全体図



### 第3章 高畑遺跡の発掘調査

#### 1. 吹田市昭和町1450-5・8における発掘調査（第1期）

##### （1）調査の経過

今回の調査は住宅建築に伴う事前調査で遺構・遺物等の包蔵状況を確認するため、平成13年6月28日に試掘トレント1か所（調査面積3.2m<sup>2</sup>）を設定し、重機を使用して実施した。

##### （2）調査の成果

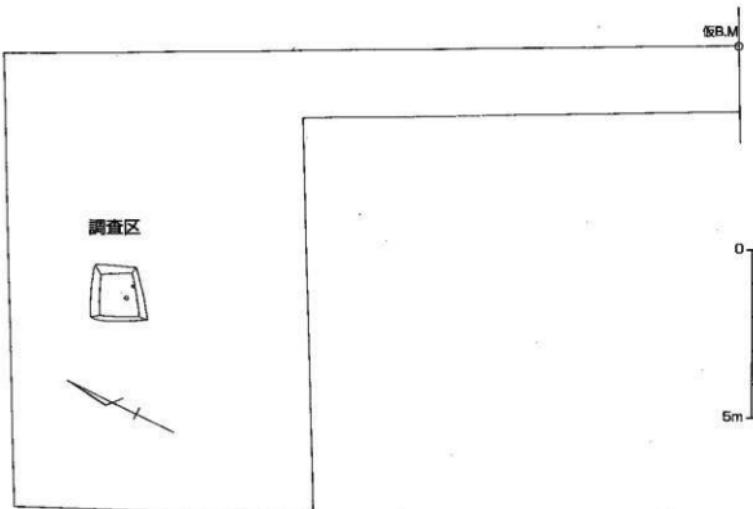
調査区の土層序は、基本的に1層 盛土（現代）、2層 暗灰色土（水田耕土、現代）、3層 灰色砂質土、4層 淡灰色砂質土、5層 灰色粘土 6層 淡茶色粘土（硬質）、7層 黄色粘土（硬質、地山）である。

これらの層のうち、地表下約0.9mの7層で遺構（径約8cmのピット2か所）を検出した。出土遺物は、4層と5層で少量の土器が出土し、地表下約0.75mの6層では土器（須恵器、土師器）の破片が出土した。

検出された遺構は、出土遺物の時期から古墳時代のものとみられ、古墳時代の集落に関わるものと判断される。



第7図 高畑遺跡発掘調査地周辺図



第8図 調査区平面図（第1期）



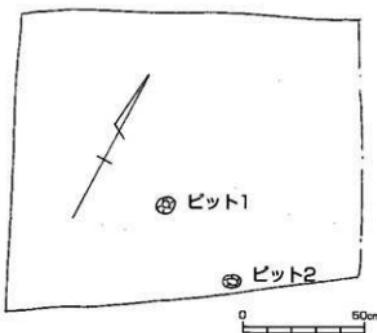
第9図 土層断面図（第1期）

## 2. 昭和町1466-4における発掘

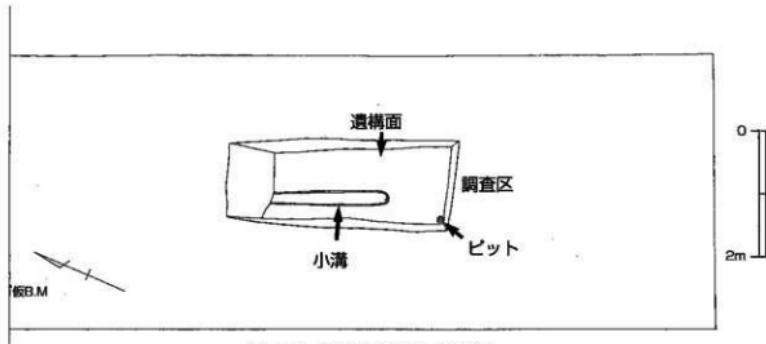
### 調査（第2期）

#### (1) 調査の経過

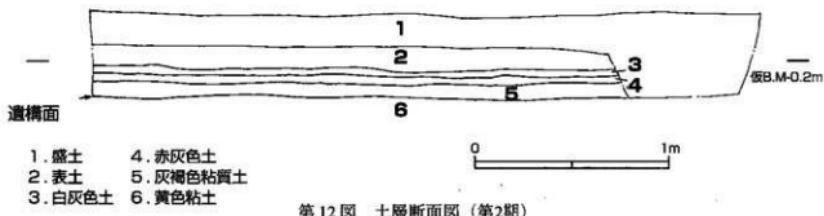
住宅建築に伴い、遺構・遺物等の包蔵状況を確認するため、平成13年12月28日に試掘トレンチ1か所（調査面積5m<sup>2</sup>）を設定し、重機を使用して実施した。



第10図 遺構平面図（第1期）



第11図 調査区平面図（第2期）



第12図 土層断面図（第2期）

### (2) 調査の成果

調査区の土層序は、基本的にⅠ層 盛土（現代）、Ⅱ層 淡灰色土、Ⅲ層 白灰色土、赤灰色土、Ⅳ層 灰褐色粘質土、Ⅴ層 黄色粘土（硬質、地山）である。これらの層のうち、地表下約40cmのⅤ層遺構面でピットと小溝が確認された。ピットは直径約10cm、深さ8cmを測る小さな穴で、底部先端が尖っていることから杭跡の可能性がある。小溝は幅約20cm、深さ1cmのものが延長約1.8mにわたって検出されたが、ごく浅く不明確なものである。

遺物はⅣ層から土器細片がわずかに出土したが、磨滅が著しく詳細は不明である。今回検出した遺構については、その時期を明確にできなかったが、これまでの周辺の調査成果から中世か古墳時代の集落跡の一部とみられる。

### 3.まとめ

今年度は高畠遺跡の2地点において調査を実施した。両地点とも地山の黄色粘土層をベースとするピット等の遺構を検出した。ピットは小規模で、掘立柱建物等の柱穴とは考えられず、簡易な杭を想定できるもので、中世か古墳時代の所産と考えられる。昭和町一帯では、近年、高畠遺跡の他、昭和町遺跡、昭和町遺跡B地点等で古墳時代の遺構・遺物の検出があり、古墳時代の集落の展開が想定されている。現状では遺跡の性格を考える上で明確な資料は持ち合わせておらず、今後の調査の進展に期待したい。

## 第4章 垂水遺跡の発掘調査

### 1. 調査の経過

今回の調査については円山町1647-1の一部において平成13年9月6日に調査区1か所（調査面積7.5m<sup>2</sup>）を設定し、重機を使用して実施した。

### 2. 調査の成果

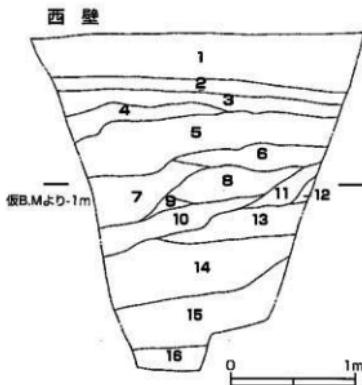
調査の土層序は1～16層に分かれ、砂層・砂質土の軟弱な堆積層が認められた。地表下約2.8mまで掘り下げたが、遺構・遺物は検出されなかった。これらの層は付近一帯が開発された昭和初め以降のものと判断される。



第14図 調査区平面図



第13図 垂水遺跡発掘調査地周辺図 (1:5000)



第15図 土層断面図

#### 土層一覧

1. 盛土	10. 淡白色砂
2. 白色砂	11. 暗黄褐色砂質土
3. 黄灰色砂	12. 淡黄色砂
4. 黄色土	13. 黄白色砂と灰色砂混合層
5. 淡黄色砂	14. 淡黄褐色砂質土と灰色砂混合層
6. 黄褐色砂	15. 暗黄褐色砂質土
7. 黄灰色砂	16. 黄白色砂
8. 暗黄色砂質土	
9. 淡灰色砂	

## 第5章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査

### 1. 調査の経過

今回の調査は泉町2-3088-22において平成13年11月9日に調査区1か所（調査面積3m<sup>2</sup>）を設定し、重機を使用して実施した。

### 2. 調査の成果

調査区の土層序は基本的にI層 盛土（現代）、II層 暗灰色粘質土（水田耕土）、III層茶褐色粘質土、IV層 茶褐色粘質土と灰色砂・細砂混合層、V層 暗褐色粘土、VI層 暗褐色粘土（多くの植物遺体を含む）、VII層 灰白色粘土である。これらの層から

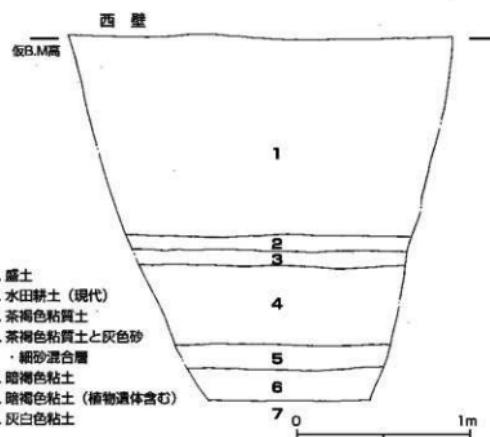
は明確な遺構・遺物等は確認されなかった。IV層は層位的にみて中世の所産と考えられるが、砂と粘質土が複雑に混じり合って不安定な堆積状況を示し、安定した水田層が形成されていないと考えられる。VI層は多量の植物遺体を含む粘質土層であることから湿地状の環境が水田であったと考えられる。



第16図 豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図 (1:5000)



第17図 調査区平面図



第18図 土層断面図

## 第6章 高城遺跡の発掘調査

### 1. 調査の経過

今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したもので、平成13年11月22日に、遺構・遺物包含の有無の確認を目的に、調査トレンチを2か所 ( $6m^2$ ) 設定して行った。

### 2. 調査の成果

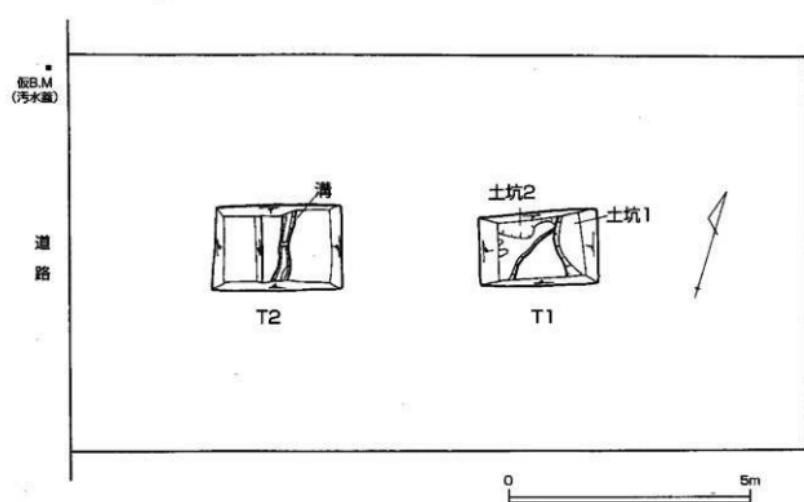
調査トレンチを掘削したところ、基本的に盛土層・旧耕土層以下、暗灰色粘質土層（第3層）、淡暗灰色粘質土層（第4層）、黄灰色粘質土層（第5層）、暗茶褐色土層（第6層）、淡灰色粘土・シルト層（第7層）、黄灰色シルト（黄色粘土混じる）層（第8層）、灰色シルトと黄色粘土の混合層（第9層）の堆積が認められた。このうち、第6層と第8層内において中世以前のものと考えられる土師器・須恵器・瓦器等の包含が確認された。

遺構については、第7層上面をベース面として、T1において土坑が2基、T2において溝が1条検出された。土坑の全形は不明であるが、それぞれの深さは土坑1で7cm、土坑2で14cmを測った。溝については、幅20~30cm、深さ10cmを測り、方位はN $10^\circ$ Wを示していた。

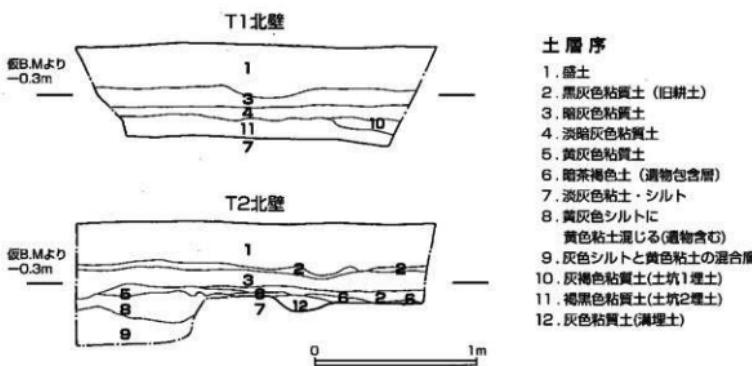
これらの遺構については、出土遺物が細片であったため、時期を特定するのは困難であるが、溝については、平成9年に当地北側隣接地にて実施した発掘調査において検出した近世後期の溝に続くものと考えられ、今回は溝内において当該期の遺物の出土はなかったが、平成9年調査の所見からすると、近世後期のものであると考えられる。また、土坑についてみると、土坑1においては黒色土器A類碗片、土坑2からは中世期のものとみられる土師器片がそれぞれ検出され、これらについては、おおむね平安時代から中世期のものではないかと考えられる。ただし、部分的な検出であることから、時期的に下る可能性も考えられる。



第19図 高城遺跡発掘調査地周辺図 (1:5000)



第20図 調査区平面図



第21図 土層断面図

## 報告書抄録

ふりがな	へいせい13ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはつくつちょうさがいほう
書名	平成13年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	吉志部瓦窯跡 高畑遺跡 垂水遺跡 豊嶋郡条里遺跡 高城遺跡
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀 賀納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL(06)6384-1231
発行年月日	西暦 2002年3月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °'\"	東經 °'\"	調査期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
さしへがようせき 吉志部瓦窯跡	すいたしきしへあた 吹田市岸部北4-1388-2ほか	27205	38	34° 46' 50"	135° 32' 3"	20010305～ 20010306	6m <sup>2</sup>	範囲の 確認
なかばたけいせき 高畑遺跡	すいたしきょうわちょう 吹田市昭和町1450-5・8	27205	126	34° 45' 39"	135° 31' 44"	20010628	3.2m <sup>2</sup>	建物の 建築
たかばたけいせき 高畑遺跡	すいたしきょうわちょう 吹田市昭和町1466-4	27205	126	34° 45' 39"	135° 31' 44"	20011228	5m <sup>2</sup>	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいたしまるやまちょう 吹田市円山町1647-1	27205	86	34° 45' 57"	135° 30' 32"	20010906	7.5m <sup>2</sup>	建物の 建築
てしまぐんじょういせき 豊嶋郡条里遺跡	すいたしいぜみちよう 吹田市泉町2-3088-22	27205	95	34° 45' 20"	135° 31' 00"	20011109	3m <sup>2</sup>	建物の 建築
たかしろいせき 高城遺跡	すいたしたかしろちょう 吹田市高城町1384-3	27205	116	34° 45' 31"	135° 31' 59"	20011122	6m <sup>2</sup>	建物の 建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
吉志部瓦窯跡	生産遺跡	奈良・平安時代・中世	土坑、落ち込み	土師器、須恵器	土坑(平安)
高畑遺跡	集落遺跡	古墳・平安時代～中世	ピット	土師器、須恵器	なし
高畑遺跡	集落遺跡	古墳・平安時代～中世	ピット、溝	土師器、須恵器	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生時代～中世	なし	なし	なし
豊嶋郡条里遺跡	条里遺跡	中世	なし	なし	なし
高城遺跡	集落遺跡	古墳・平安時代～近世	土坑、溝	土師器、黒色土器	土坑(平安～中世)



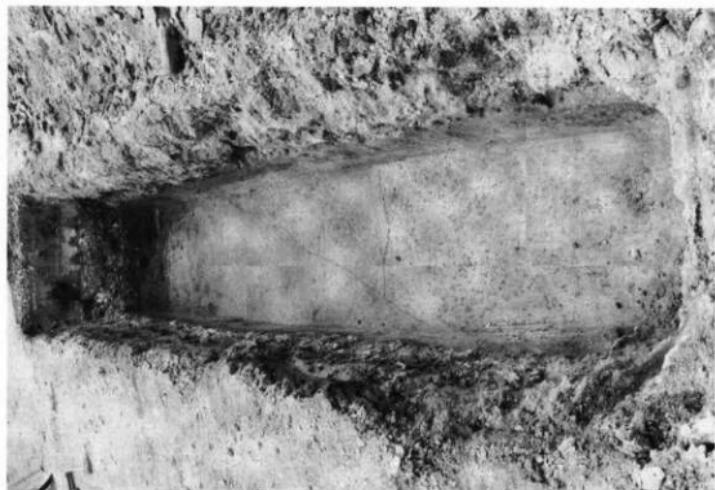
調査前近景(東から)



調査風景(西から)

図版2

吉志部瓦窯跡2



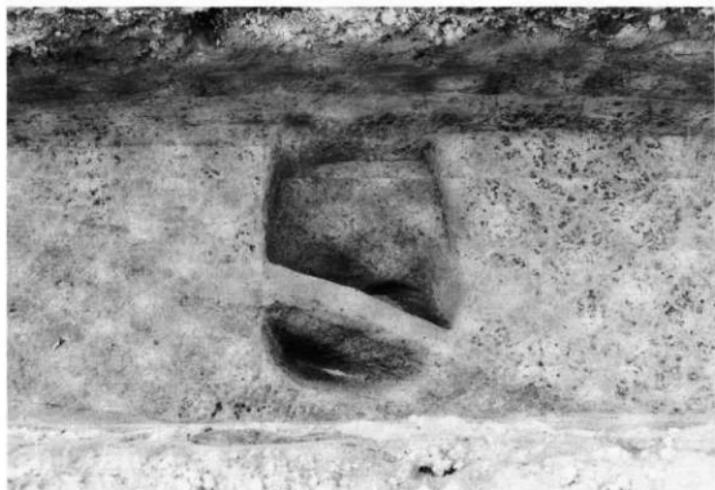
遺構上面像山状況(東から)



遺構上面像山状況(東から)



遺構検出状況(東から)



土坑(南から)



土坑縦部(北から)



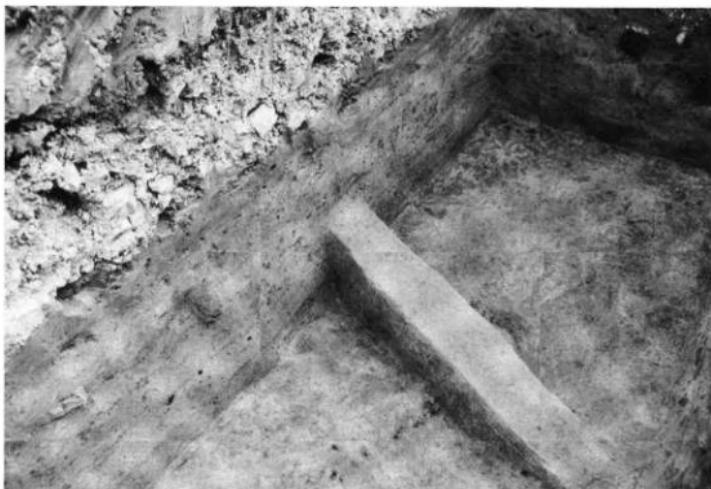
土坑内土層断面(北から)



落ち込み検出状況(西から)



落ち込み近景(東から)



落ち込み細部(北から)



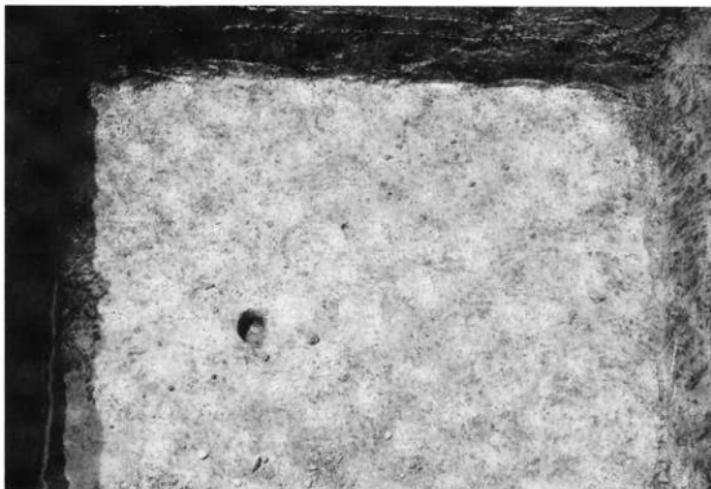
西壁土層断面(東から)



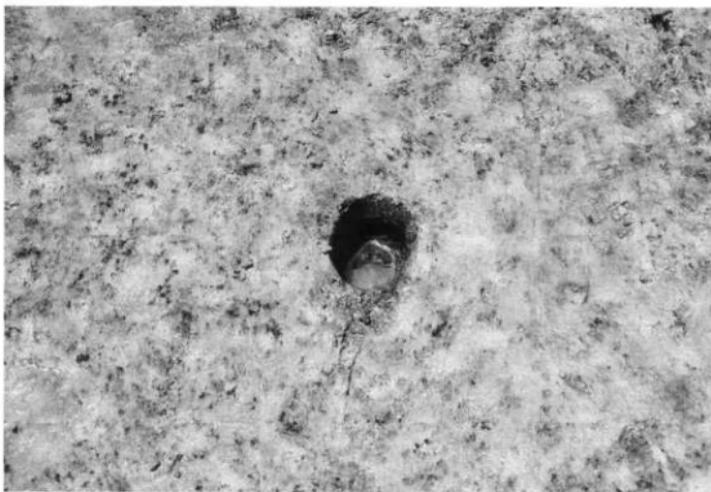
調査区近景(東から)



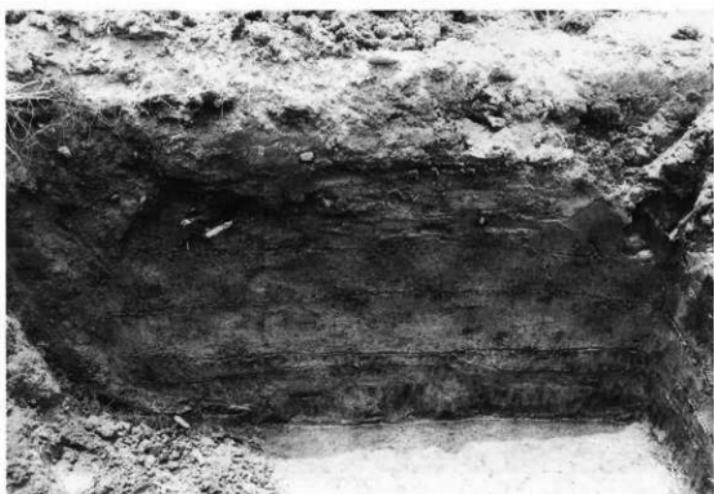
遺構接出状況(東から)



焼痕検出状況(東から)



ピット検出状況(東から)



南壁断面(北から)



西壁断面(東から)



調査地点近景(北から)



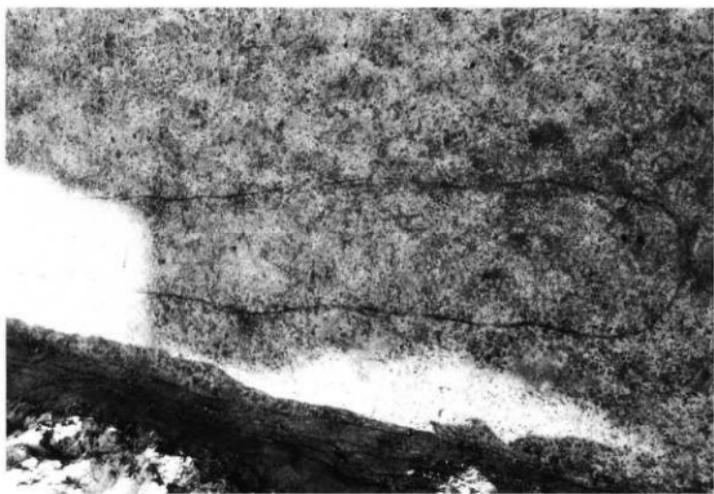
調査区近景(北から)

圖版 11 高烟遺跡（第2期）2

（六九七）2004年遺物

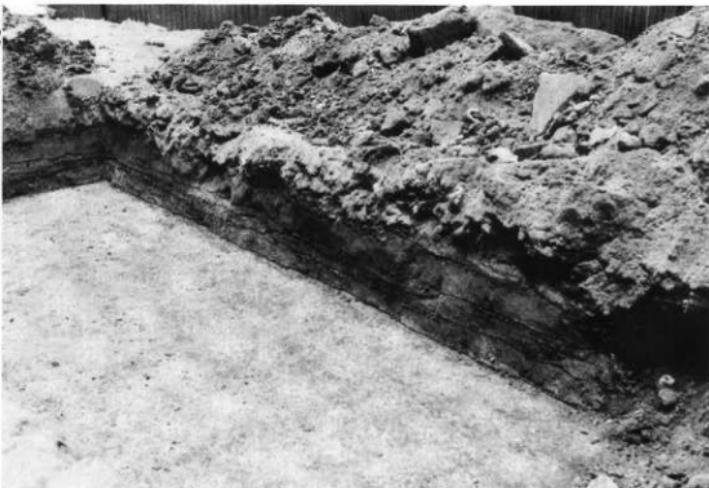


（六九八）2004年遺物

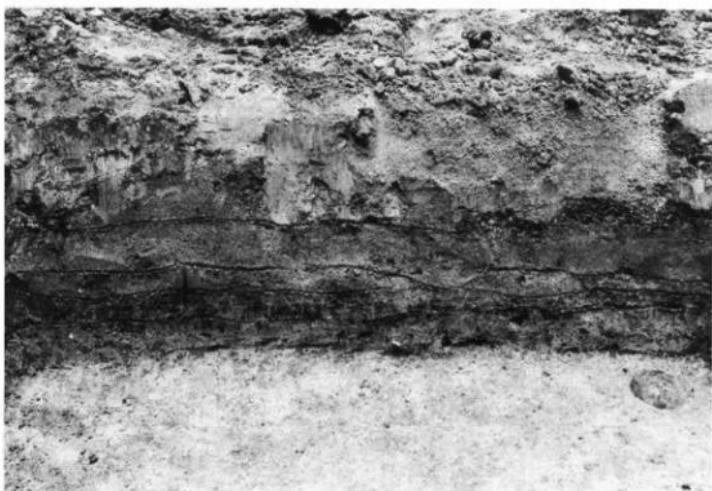


図版  
12

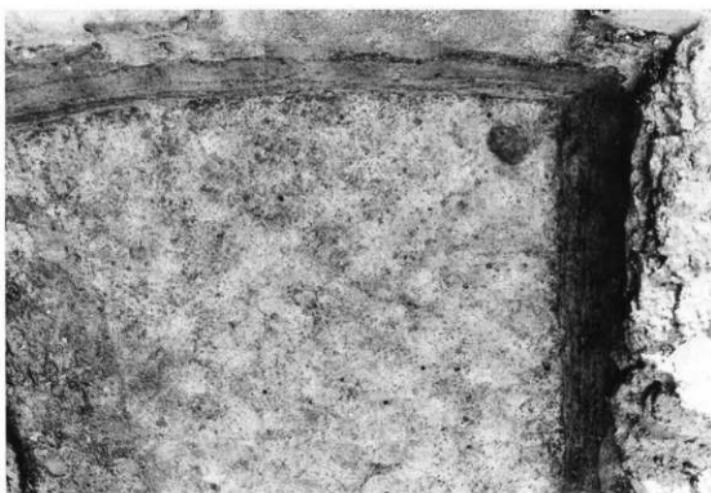
高畠遺跡(第2期) 3



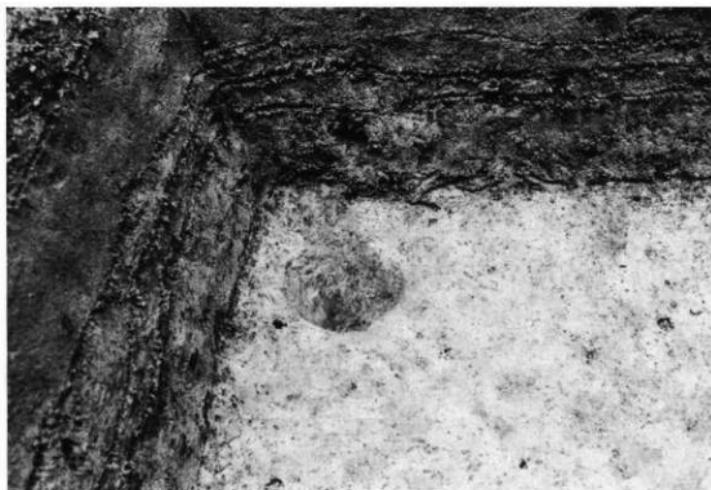
西壁土層断面(北東から)



南壁土層断面(北から)



道傍検出状況（北から）



ピット検出状況（東から）



調査地点近景(北から)



調査区近景(東から)



調査区近景(南東から)



西壁断面(東から)



調査区近景(南東から)



調査区(東から)



西壁断面(東から)



西壁断面(東から)



調査地近景(西から)



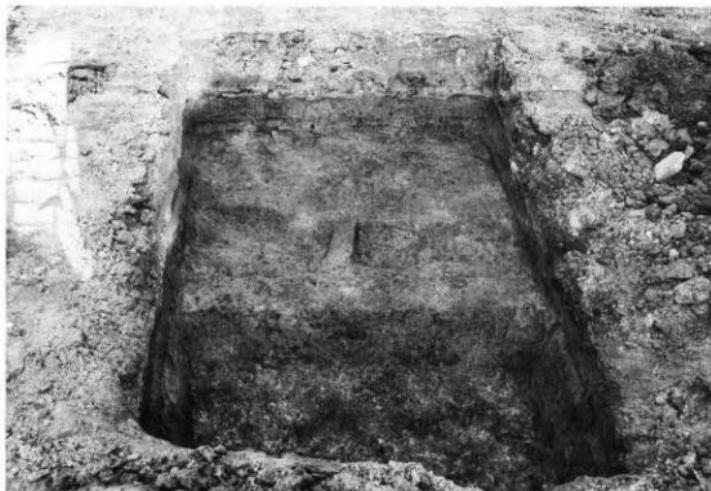
T1 遺構検出状況(南から)



T1 北壁



T2 遺構検出状況(南から)



T2 遺構検出状況(西から)



T2 溝(南から)

〔平成13年度〕

**埋蔵文化財緊急発掘調査概報**

吉志部瓦窯跡  
高畠遺跡  
垂水遺跡  
豊嶋郡条里遺跡  
高城遺跡

平成14年3月29日

編集 吹田市泉町1丁目3番40号  
発行 吹田市教育委員会